

スズメの餌台

初雪が降り積もる12月中旬に、スズメの餌台を設置した。いつもの場所に木製手作りの餌台である。

もう何年も使ってきたのでスズメたちも見慣れているのでしょう。初日は数羽だけで様子を見ていたが、翌日からどんどん増えだし数十羽単位の賑わいとなった。まるでスーパーの安売りデーに群がるお客さんのようである。広くもない売り場には、ピチャクチャ、ピチャクチャと歓声が飛び交った。後ろから飛びケリをかけ、強引に潜り込もうとする輩も現れた。

ところが、くず米も残り少なくなりついに底をついてしまった。



あきたこまちはおいしいな、と言ったかどうかは分からないが、大賑わいです。

量販店から「野鳥のごちそう自然食タイプ」という、いかにも小鳥たちが喜びそうな餌を買ってきた。

さっそく与えてみたら、大勢のスズメたちが食らいついてきたが、翌日からだんだんと飛来数が減り、3日後には誰も寄り付かなくなったのです。

なぜ、どうして?、と買ってきた餌の袋を見たら、原材料として次のような物が入っていた。ミレット、キビ、ヒマワリ、ヒエ、サフラワ、トウモロコシ、ソバ、カナリヤ、シード、マイロ、小麦等々。



屋根には順番待ちが出来るほど。



こぼれ落ちた餌を丁寧に食べている。

ミレットとは、サフラワとはシードとは？、外国産の原料でしょうか。

高いお金を出して買ったのだからと毎日続けたが、今まで与えた秋田県産こまちとは違いがあるのでしょう。ついに誰も寄り付かなくなってしまった。

野鳥の世界にも好き嫌いがあるようだ。そこで、知人に頼み込んであきたこまちのくず米を譲ってもらうことが出来た。直ぐに餌台に運び込んだら、あきたこまちの影響は大きかった。スーパーの売り出しは押すな押すなの大盛況。

スズメたちにも笑顔？が見られたような気がしました。